

平成29年度 第2回桜井市地域公共交通活性化再生協議会会議要旨

- 日 時 平成29年10月19日（水）午後1時30分から
- 場 所 中央公民館3階 大会議室
- 出席者 協議会委員11名（うち、代理出席者7名） 事務局3名
- 会議内容

挨拶 桜井市副市長 笹谷 清治

議案説明

- 1) コミュニティバス西北部循環線「大豆越」停留所の移設について（資料1・資料2）

【事務局説明】

- 資料により説明

【意見】

- 新路線でバスが通る道はかなり狭いと思うが、バスは通れるのか。
- 運行実験の際、通行が可能であったので、問題はないが、水田の多い地域であり、トラクター等が停めてあると、通行が不可能になってしまう。事務局の方から、再度路上に農作業用の車等を置かないよう、地元をお願いをしてほしい。

（事務局）確かにこの地域は水田が多く、軽トラックやトラクターを駐車されると、バスの運行に支障が出てしまう。バスの運行のために路上に車を停めないようにという点については地元からも了解をいただいている。再度、徹底をさせていただき、バスの運行に支障が出ないようにしたい。

- カーブミラーをもう一度確認していただきたい。

（事務局）再度現場を確認いたします。

- 運行が12月1日からということで、新規路線の申請はどのようなスケジュールになっているか。
- この協議会で承認いただいたら、タイトなスケジュールにはなるが、1ヶ月の短縮申請期間で申請する。またダイヤの変更も伴うので、実施の一週間前に告示する。

異議なく、承認される。

2) 地域内フィーダー系統確保維持改善計画の変更について（資料3）

【事務局説明】

- 資料により説明

【意見】

異議なく、承認される。

3) 公共交通の利用促進について（資料4）

【事務局説明】

- 資料により説明

【意見】

- アンケートについて、不満がかなり多いように感じた。ひとつでも多く実現できるように努力していかなければならないが、この中でもバスの時刻表がスマホのアプリ等で対応していないという意見について、奈良交通は一般路線の時刻表であれば時刻表検索アプリに対応しているが、コミュニティバスの時刻表は対応していない。将来的には反映させる方向で動かなくてはならないと考える。他市町村のコミュニティバスの事例では、データを送るだけでアプリ等に反映させることができたと聞くので、提出料等の費用はかからないと思う。事業者が変わること等も考えられるので、基本的には市町村のコミュニティバス等においては市のからアプリの運営会社等にデータを送ったほうが良いかと考える。

（事務局）国土交通省からガイドラインもいただき、検討している。当市のように本数も少ないコミュニティバスであれば、市からデータを用意させていただこうと思うが、データ作成の点において、ガイドラインでは明確ではない部分もあり、進捗が止まっている状態である。今お聞きしたことも含め、交通事業者とも相談しつつ早く対応できるように動き始めたい。

- 県からも経路検索アプリの運営会社等に聞き取りを行っている。基本的に掲載料は無料であり、データも路線図とダイヤを渡せば、掲載まで時間はかかるが、対応はできるとの回答を得た。ただ、循環路線に関しては、システム上検索が難しい部分があるとのことだった。

- コミュニティバスのバス停留所ナンバリングは、わかりやすくなる反面、鉄道と比べてバスは停留所の増減などの変更がある程度起こる可能性があるため、今後欠番が発生したり、整数でない数字が発生したり等、整っていないナンバリング表記が起こりえることに留意していただきたい。

(事務局) ナンバリングについては、コミュニティバスにおいて導入している事例は少ないので、モデルとなれるように、デザインやナンバリングの振り方もふくめ事業者と協力しながら検討していきたい。

- 利用促進をはかるターゲット層をはっきりさせる必要がある。桜井市においては、学生をターゲットにするのは難しい部分があるので、高齢者がターゲットになろうかと思う。高齢者が利用しやすいダイヤ作りや路線設定が重要になると考える。例えば病院行きのダイヤをもっと早くするなど、沿線の施設とその利用者層を考えた上で再編をしていく必要がある。

(事務局) 病院へ行かれる方は非常に重要な利用者になると思う。桜井駅で乗り継ぎして病院に迎えるようにダイヤ設定はしているが、すべての便が問題なく乗り継ぎできるようなダイヤというのはどうしても難しいので、特に病院利用目的の時間帯についてはスムーズに乗り継ぎが出来るよう配慮し、重ねて見直したい。

また病院以外でも買い物の需要も大きい。病院や買い物のためといった生活路線と、例えば多武峯線といった観光路線をバランスよく両立して利用促進をしていきたい。

- 乗り継ぎに関して、一方が遅れた場合、乗り継ぎ先のもう一方のバスは、到着を待って発車しているか。

(事務局) 南口と北口間の乗り継ぎは駅の構造上時間がかかるので、その時間を考えてダイヤ編成はしているが、遅れた場合に到着を待って発車することはしていない。

- 大豆越の移設に伴ってダイヤが若干遅くなったことにより、乗り継ぎの時間が若干減少しているため、この点も考慮して今後の再編に生かしてもらいたい。

- 大宇陀には営業しているタクシー会社がないので、不便であるという声をよく聞く。また、中和病院への需要も多いと感じている。こういった声を取り入れて、桜井菟田野線についても利用促進や見直しを考えるべきであると感じる。

異議なく、承認される。